

## 令和2年度市政ネットモニター 1月アンケート調査結果 「福島市の下水道事業全般に関するアンケート」

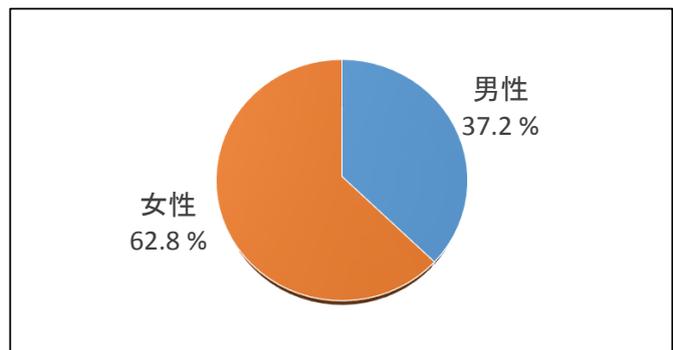
テーマ	福島市の下水道事業全般に関するアンケート
目的	本市では、平成27年7月に策定した「福島市下水道ビジョン」の施策に位置付けている「市民ニーズ等の把握」に基づいて、下水道事業全般に関して、利用状況や使用料、今後の整備等に関する意見を把握し、事業運営の参考とするため、アンケート調査を実施するものです。

調査期間	令和3年1月15日(金)～2月1日(月)
モニター数	165名(男性:58名/女性:107名)
回答数	<b>145名</b> (男性:54名/女性:91名)
回答率	87.9%

### 【今回の回答モニターの基本属性】

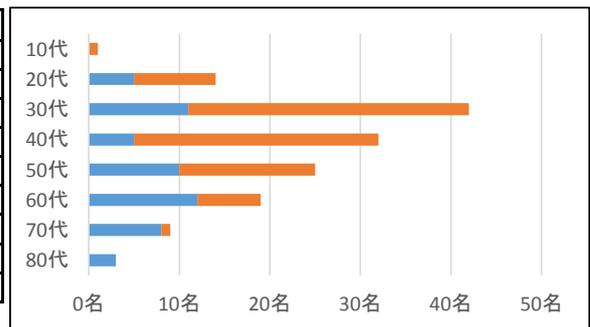
#### (1) 性別

男性	54名
女性	91名
合計	145名



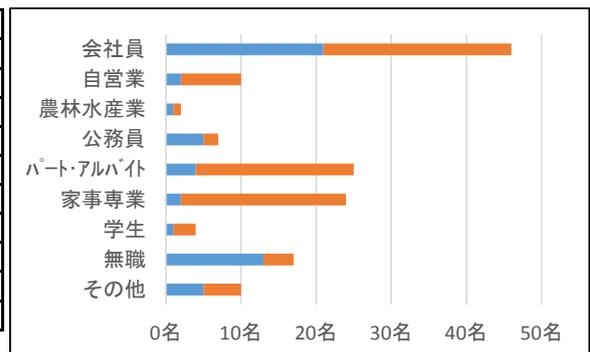
#### (2) 年代

年代	男性	女性	合計
10代	0名	1名	1名
20代	5名	9名	14名
30代	11名	31名	42名
40代	5名	27名	32名
50代	10名	15名	25名
60代	12名	7名	19名
70代	8名	1名	9名
80代	3名	0名	3名
合計	54名	91名	145名



#### (3) 職業

職業	男性	女性	合計
会社員	21名	25名	46名
自営業	2名	8名	10名
農林水産業	1名	1名	2名
公務員	5名	2名	7名
パート・アルバイト	4名	21名	25名
家事専業	2名	22名	24名
学生	1名	3名	4名
無職	13名	4名	17名
その他	5名	5名	10名
合計	54名	91名	145名

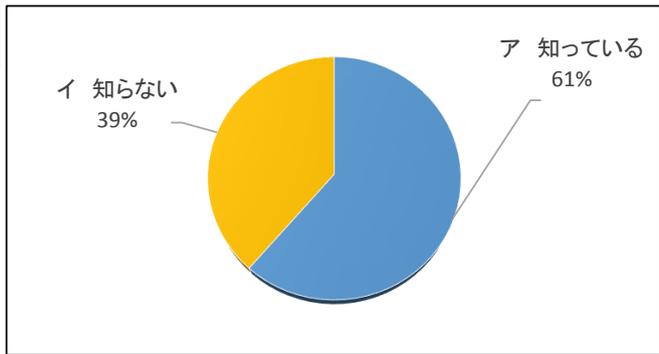


**問1 (必須回答)**

あなたは、下水道事業が、「生活排水などの汚水処理」のほかに、「雨水の排水対策」や「河川などの水環境の水質保全」の役割を果たしていることを知っていますか？

ア 知っている	89名
イ 知らない	56名

( 回答者数 145名 )



**【下水道総務課】**

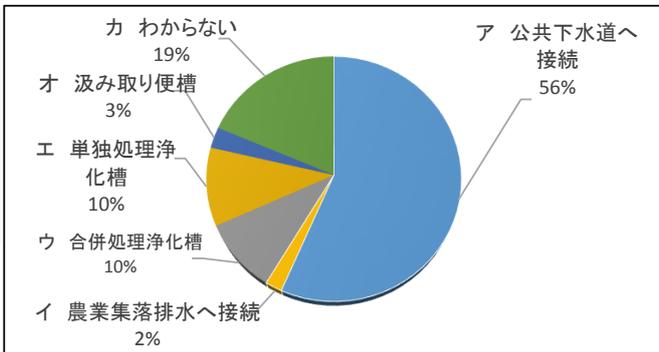
「問1」に関して約4割の方が「知らない」との回答でした。下水道事業には「雨水の排水対策」や「河川などの水環境の水質保全」の役割があることについても、更に説明する必要があると認識いたしました。

**問2 (必須回答)**

あなたのご家庭では、生活排水(台所や洗濯、風呂、洗面所、トイレの排水)などの汚水はどのような方法で処理していますか？

ア 公共下水道へ接続【問3へ進む】	82名
イ 農業集落排水へ接続【問3へ進む】	3名
ウ 合併処理浄化槽【問4、問5へ進む】	14名
エ 単独処理浄化槽【問4、問5へ進む】	15名
オ 汲み取り便槽【問4へ進む】	4名
カ わからない (マンション、アパートなどに住んでいるため)【問6へ進む】	27名

( 回答者数 145名 )



**【下水道総務課】**

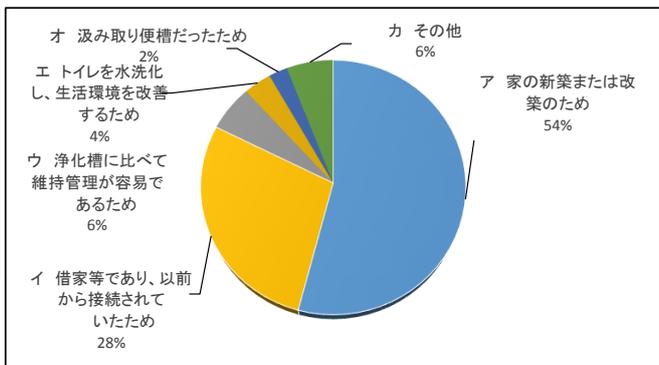
調査にご回答いただきました145名のうち、公共下水道・農業集落排水へ接続されている方が約58%おり、合併処理浄化槽の方が約10%、単独処理浄化槽の方が約10%であることがわかりました。

**問3 (問2でア、イを選択した方)**

問2で「公共下水道へ接続」、「農業集落排水へ接続」を選択した方に伺います。公共下水道または農業集落排水に接続された理由をお聞かせください。

ア 家の新築または改築のため	46名
イ 借家等であり、以前から接続されていたため	24名
ウ 浄化槽に比べて維持管理が容易であるため	5名
エ トイレを水洗化し、生活環境を改善するため	3名
オ 汲み取り便槽だったため	2名
カ その他	5名

( 回答者数 85名 )



**【下水道総務課】**

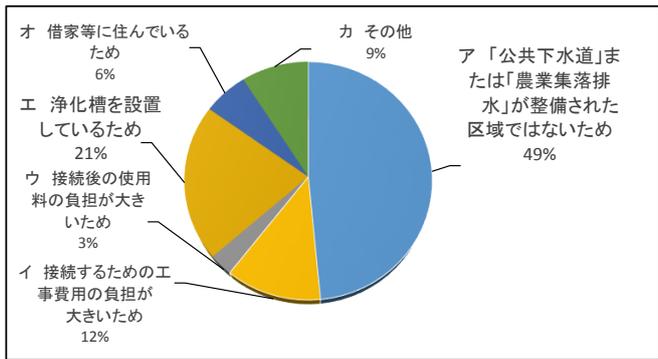
問2でア、イを選択いただきました85名のうち、46名で約54%の方が家の新築・改築により公共下水道・農業集落排水に接続されていることがわかりました。

**問4 (問2でウ、エ、オを選択した方)**

問2で「合併処理浄化槽」、「単独処理浄化槽」、「汲み取り便槽」を選択した方に伺います。公共下水道または農業集落排水に接続していない理由をお聞かせください。

ア 「公共下水道」または「農業集落排水」が整備された区域ではないため	16名
イ 接続するための工事費用の負担が大きいため	4名
ウ 接続後の使用料の負担が大きいため	1名
エ 浄化槽を設置しているため	7名
オ 借家等に住んでいるため	2名
カ その他	3名

( 回答者数 33名 )



**【下水道総務課】**

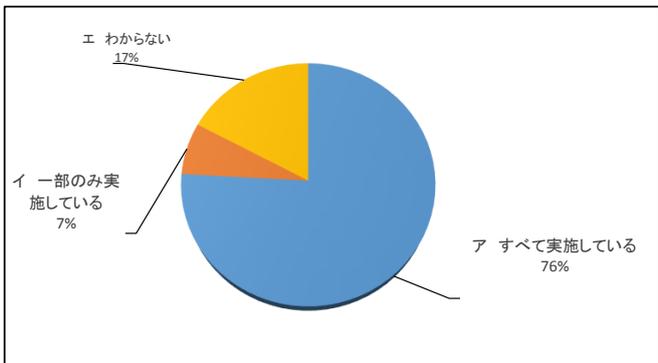
問2でウ、エ、オを選択いただきました33名のうち、16名で約49%の方は「公共下水道」・「農業集落排水」が整備された区域ではないため、接続していないことがわかりました。

**問5 (問2でウ、エを選択した方)**

問2で「合併処理浄化槽」、または「単独処理浄化槽」を選択した方へ伺います。浄化槽は適正な機能を維持するため、法令で「年に数回の保守点検」、「年1回の清掃」及び「年1回の法定検査」が義務付けられていますが、これらの実施状況についてお聞かせください。

ア すべて実施している	22名
イ 一部のみ実施している	2名
ウ まったく実施していない	0名
エ わからない	5名

( 回答者数 29名 )



**【下水道総務課】**

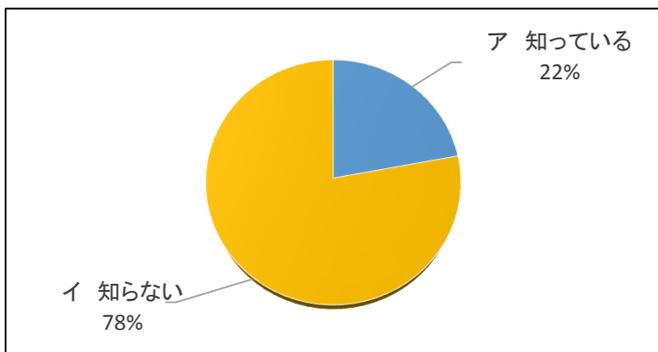
問2でウ、エを選択いただきました29名のうち、22名で約76%の方が保守点検・清掃・法定検査をすべて実施していることがわかりました。

**問6 (必須回答)**

あなたは、下水道や農業集落排水事業が果たしている役割のうち、「汚水を処理するためにかかる費用」と「施設や設備の維持管理費」が、下水道使用料または農業集落排水施設使用料収入で賄う、いわゆる独立採算が原則であることを知っていますか？

ア 知っている	32名
イ 知らない	113名

( 回答者数 145名 )



**【下水道総務課】**

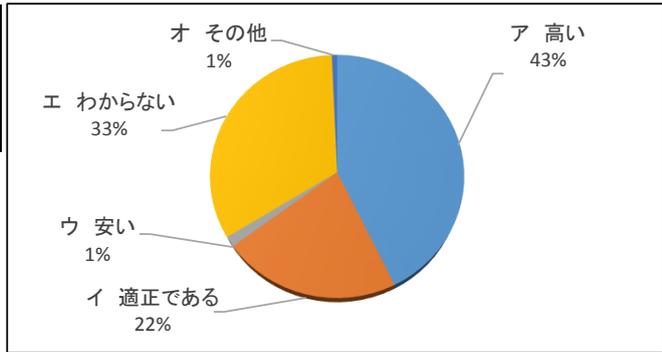
「知らない」と回答した方が8割近いことから、今後も利用者が支払った使用料で事業運営を行っていることを積極的に広報していく必要があると認識いたしました。

問7 (必須回答)

問6を踏まえ、あなたは使用料について、どう感じていますか。

ア 高い	62名
イ 適正である	32名
ウ 安い	2名
エ わからない	48名
オ その他	1名

( 回答者数 145名 )



【下水道総務課】

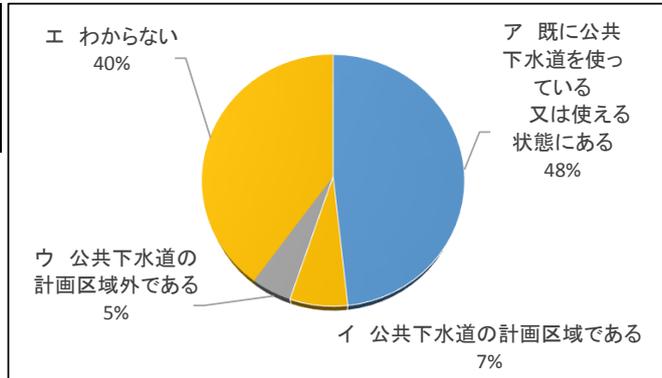
問6のように大半の方が使用料での事業運営を知らないことで、単に料金が「高い」という印象を与えてしまっているため、汚水処理等にかかる必要最低限の費用を詳しく理解していただくようわかりやすい説明が必要であると認識いたしました。

問8 (必須回答)

公共下水道は、整備される区域が限られています。あなたのお住いの地区は、公共下水道が計画されている区域ですか？

ア 既に公共下水道を使っている 又は使える状態にある	70名
イ 公共下水道の計画区域である	10名
ウ 公共下水道の計画区域外である	7名
エ わからない	58名

( 回答者数 145名 )



【下水道建設課】

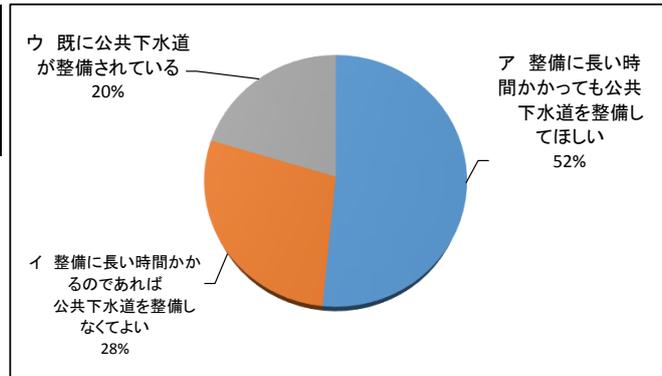
既に公共下水道を利用または利用できる状態の人と、公共下水道の計画区域を知っている人の合計が60%という結果から少なからず下水道を意識していることが分かりました。

問9

現在、公共下水道を利用していない方に伺います。公共下水道の整備には多額の費用と長い時間がかかりますが、あなたはいつまで下水道を整備してほしいですか？

ア 整備に長い時間かかっても公共下水道を整備してほしい	33名
イ 整備に長い時間かかるのであれば公共下水道を整備しなくてよい	18名
ウ 既に公共下水道が整備されている	13名

( 回答者数 64名 )



【下水道建設課】

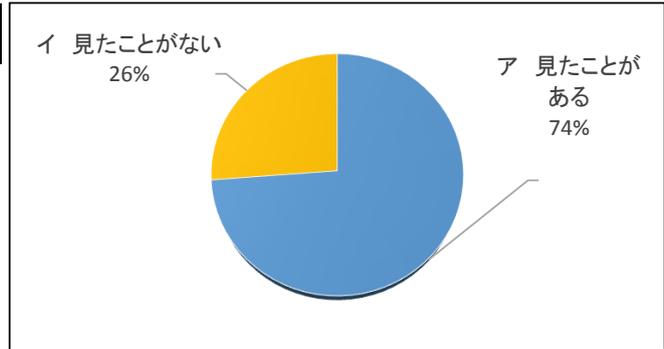
下水道の整備に費用と時間がかかっても整備してほしいか質問をしたところ、時間がかかっても整備してほしい方が半数であったため、公共下水道の整備について今後の経営状態や財政状況を考慮しながら計画してまいりたいと考えております。

**問10 (必須回答)**

内水ハザードマップとは身の周りに起こる浸水に対する避難行動等の情報について明記し作成したものであります。令和2年5月から支所や市のHPで公表しているほか、市政だより9月号とともに冊子を配布いたしましたをご覧になったことはありますか？

ア 見たことがある【問11へ進む】	107名
イ 見たことがない【問12へ進む】	38名

( 回答者数 145名 )



**【下水道建設課】**

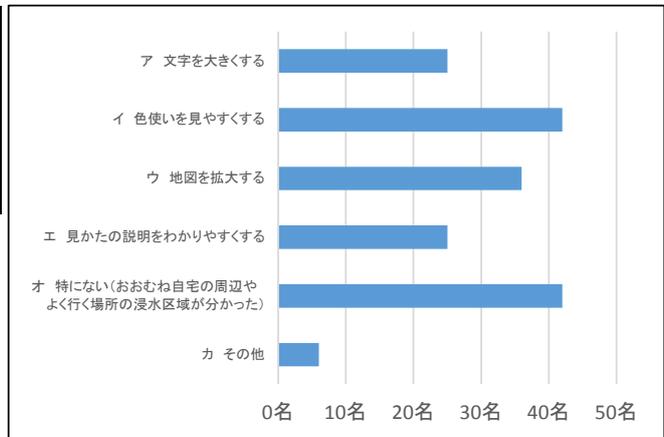
「福島市内水ハザードマップ」について、74%の方が冊子やHPなどの方法で見たことがあると回答されました。一方で26%の方が見たことがないとの結果については、今後更なる周知を図ることが必要であると考えております。

**問11 (問10でアを選択した方)**

問10で「見たことがある」を選択した方に伺います。より見やすいマップにするためには、次回どのような点を改善したら良いと思いますか？(複数回答可)

ア 文字を大きくする	25名
イ 色使いを見やすくする	42名
ウ 地図を拡大する	36名
エ 見かたの説明をわかりやすくする	25名
オ 特にない(おおむね自宅の周辺やよく行く場所の浸水区域が分かった)	42名
カ その他	6名

( 回答者数 109名 )



※「カ その他」について

- ・今回の質問など下水処理についての説明会をしてほしい。いろいろ知りたいことありますが。
- ・持ち運びを便利に
- ・浸水シミュレーション対象地区とそれ以外の地区の意味合いがよく解らない。
- ・地域別に拡大版を作成して、必要な情報も盛り込む
- ・スマホでは見にくい。住所ですぐわかる方がよい。
- ・今はなくても、以前に川があった場所などは浸水しやすいと思うので明記して欲しい。

**【下水道建設課】**

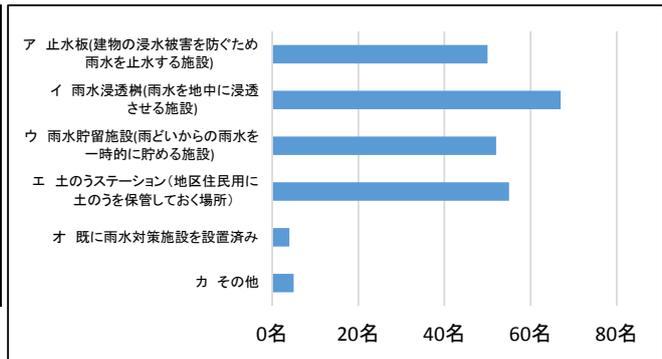
問10で「見たことがある」と回答した方に次回改善してほしいところを複数回答でお聞きした結果、特に色使いや地図の縮尺について改善してほしいとのご意見をいただきましたので、次回マップを作成する際は今回の意見を参考にしていきたいと考えております。

**問12 (必須回答)**

市内全域で住宅等、雨水の浸水被害を軽減させるため、ご家庭や町内会等で身近に取り入れる対策として、有効だと思うものを教えてください。(複数回答可)

ア 止水板(建物の浸水被害を防ぐため雨水を止水する施設)	50名
イ 雨水浸透柵(雨水を地中に浸透させる施設)	67名
ウ 雨水貯留施設(雨どいからの雨水を一時的に貯める施設)	52名
エ 土のうステーション(地区住民用に土のうを保管しておく場所)	55名
オ 既に雨水対策施設を設置済み	4名
カ その他	5名

( 回答者数 145名 )



※「カ その他」について

- ・東京都や郡山市の例年洪水被害のある地域に限定した地下雨水貯水設備を構築して被害を未然に防ぐ設備の早期実現
- ・省略
- ・小川や排水路の流れをよくするための土砂あげ、草刈り、ごみ除去を定期的実施する。
- ・側溝の堆積物の排除するとともに、側溝の有効性を常に万全にする
- ・分からない

【下水道建設課】

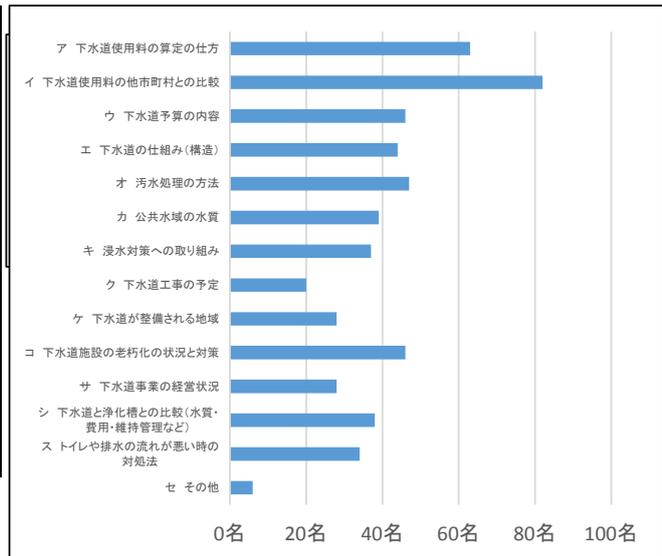
浸水被害軽いため、身近に取り入れる対策として有効であると思うものをお聞きした結果、高いものから「雨水浸透柵」「土のうステーション」「雨水貯留施設」「止水板」の順となりました。しかしながら、どの対策も同程度意見があったことから、地域に応じた対策が必要であると考えております。

**問13 (必須回答)**

下水道事業は、汚水処理、雨水の排除及び公共用水域の水質保全を目的とし事業を行っています。あなたは福島市の下水道事業の情報として、どんなことが知りたいですか？(複数回答可)

ア 下水道使用料の算定の仕方	63名
イ 下水道使用料の他市町村との比較	82名
ウ 下水道予算の内容	46名
エ 下水道の仕組み(構造)	44名
オ 汚水処理の方法	47名
カ 公共水域の水質	39名
キ 浸水対策への取り組み	37名
ク 下水道工事の予定	20名
ケ 下水道が整備される地域	28名
コ 下水道施設の老朽化の状況と対策	46名
サ 下水道事業の経営状況	28名
シ 下水道と浄化槽との比較(水質・費用・維持管理など)	38名
ス トイレや排水の流れが悪い時の対処法	34名
セ その他	6名

( 回答者数 145名 )



※「セ その他」について

- ・全て
- ・下水道、処理施設の見学研修会を定期的開催して市民の理解を得る。
- ・下水道工事が実施されていますが、震災前に説明された計画と現実では、遅延しており、遅延理由と供用開始予定を明確に示してほしい
- ・阿武隈川ですが、大雨の度に上流から流れてくる砂やゴミにより浅くなっていて、その影響で川の水位が増えやすく、小さな川で氾濫してしまうと感じています。河川自体の整備についての計画があれば、情報がほしいです。
- ・下水管の工事の後トイレが臭くなるようになったが下水が逆流しているのではないか
- ・分からない

【下水道総務課】

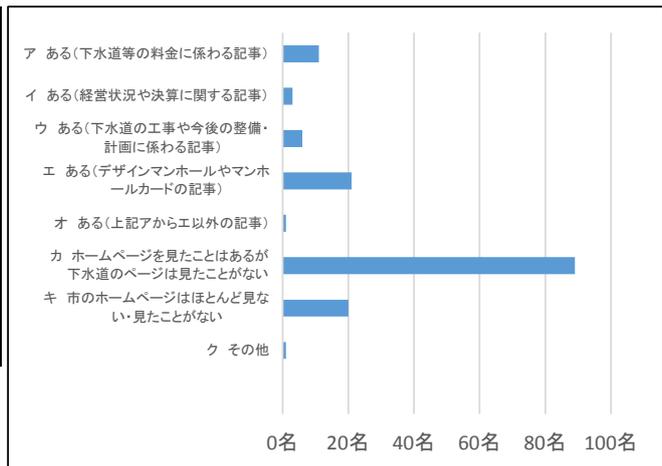
使用料に対する情報をもっと幅広くわかりやすく広報することが求められていることだとわかりました。また、それらの使用料に関する事項に関連付けて、予算や決算、経営状況などもお知らせすることも市民の理解を得るための手法の一つだと認識いたしました。

**問14 (必須回答)**

福島市のホームページから、下水道関連の記事を見たことがありますか？また、見たことがある方は、どのページを見たことがありますか？(見たことがある方は、アからオで複数選択可)

ア ある(下水道等の料金に係わる記事)	11名
イ ある(経営状況や決算に関する記事)	3名
ウ ある(下水道の工事や今後の整備・計画に係わる記事)	6名
エ ある(デザインマンホールやマンホールカードの記事)	21名
オ ある(上記アからエ以外の記事)	1名
カ ホームページを見たことはあるが下水道のページは見たことがない	89名
キ 市のホームページはほとんど見ない・見たことがない	20名
ク その他	1名

( 回答者数 145名 )



※「ク その他」について

・処理区域外で生活していると市政だよりを精読しない。

**【下水道総務課】**

問13にあるように、下水道に対しての興味をかなりの方がもっているので、ホームページでの広報はもとより、それ以外の広報手段をいろいろと採用し、いろんな形で情報が取り出せるような工夫をしていくことが重要とわかりました。

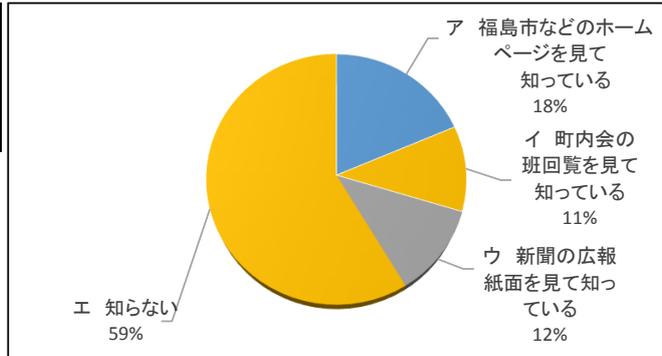
**問15 (必須回答)**

国見町にある福島県の施設「県北浄化センター」が令和元年の台風19号により被災し、下水処理機能が回復するまでの間、普段以上に節水を心がけるなど、「生活排水の抑制」にご協力をお願いいたしておりますが、ご存じでしたか。

なお、県北浄化センターでは、現在、令和3年度末の完全復旧に向けて取り組んでおります。

ア 福島市などのホームページを見て知っている	27名
イ 町内会の班回覧を見て知っている	16名
ウ 新聞の広報紙面を見て知っている	17名
エ 知らない	85名

( 回答者数 145名 )



**【下水道総務課】**

約6割の方から「知らない」とのご回答をいただきました。今後、県北浄化センターの復旧状況のお知らせと併せて、引き続き「生活排水の抑制」について定期的な広報を行う必要があると認識いたしました。

**【下水道室まとめ】**

本市では、昭和38年から公共下水道事業を開始しているものの、公共下水道が未整備で接続できない方や、まだ合併処理浄化槽を使用していない方が約5万人いるなど、汚水処理施設の普及拡大は重要な課題となっております。また、地震や豪雨、及び下水道施設の老朽化への対策や、少子高齢化・財政制約の中での下水道経営の安定化など、取り組むべき課題も多様化しています。

今回のアンケートにおいて、下水道事業の役割や使用料などの回答では「知らない」の割合が高く、情報発信が不足していると認識いたしましたので、広報媒体の多様化や広報頻度を増やすなど、情報がより皆様へ行き渡るような改善を図ってまいります。また、公共下水道の整備などについては、下水道事業に関する住民の要望などを把握して、今後の下水道事業のあり方をハード・ソフトの両面から多角的に調査・検討してまいります。

今後も、市民の皆さまからの貴重なご意見を参考にしながら、下水道事業の取り組みを推進してまいります。ご協力ありがとうございます。

【お問合せ先】福島市役所(〒960-8601 福島市五老内町3番1号)

《アンケート内容に関して》  
都市政策部 下水道総務課 普及推進係  
電話 024-525-3768(直通)

《市政ネットモニター制度に関して》  
政策調整部 広聴広報課  
電話 024-563-7488(直通)